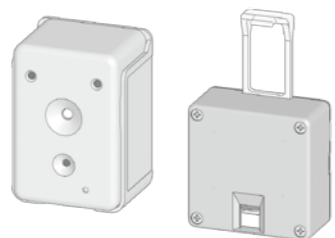


ピオマ 感震ブレーカー 取扱説明書／保証書

32101-101-00



ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しくお使いください。
本書は取付後、いつでも見られる所で大切に保管してください。

※この製品は、地震発生時に自動で漏電ブレーカーを遮断・LEDを点灯する機能を有するものです。
※地震を予知するものではありません。
※免震住宅や設置場所においては地震センサが作動しないこともあります。
※地震その他災害に伴う混乱、事故、または本製品を使用したことにより、お客様に生じた損害について、弊社はいかなる場合も責任を負いかねますので、ご了承ください。
※人命に直接関わる医療機器などに対しては使用しないでください。

UBUKATA MERYCON
※仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

1 安全に関するご注意

注意事項の表示は以下のようになっています。

警告	この記号は取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が重症または軽症を負う危険な状態が生じることが予想される場合、または機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性があることを告げるものです。
-----------	---

- 本製品は住宅用分電盤専用です。その他の用途では使用できません。
- 感電・ケガ・故障の原因となりますので、取り付け可能な製品（設置方法に記載）以外には使用しないでください。
- 濡れた手で作業しないでください。
- 破損または落下した本製品は使用しないでください。
- 分解・改造は、発熱・焼損・火災・感電の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 実際に地震が発生した場合や電池切れの際にはブレーカーが遮断されます。ブレーカーが遮断された場合にご家庭で使用している電気機器は全て遮断されます。遮断に伴う故障・ケガ・事故については、弊社はいかなる場合も一切責任を負いません。

注意	この記号は取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽症を負うかまた物的損害のみ生じる可能性がある場合、または機能に悪影響を及ぼす可能性があることを告げるものです。
-----------	---

- 点灯部を直視し続けしないでください。
- 取扱説明書と異なる設置を行った場合は製品の機能を保証できない場合があります。
- 製品を設置する際は、落下に十分ご注意ください。

2 製品仕様

型式	UGU6
使用電池・寿命	専用リチウム電池 CR17450(3V)・電池寿命約10年 ※お客様のご使用環境により、短くなる場合があります。 ※電池のみを交換し継続使用することは出来ません。
感震機能	震度5強相当以上（JWDS0007付2に準拠）で下記動作 ・漏電ブレーカーを遮断 ・感震ライト（高輝度白色LED）が約10分間点灯
電池切れお知らせ機能	電池残量低下時のお知らせ灯（赤色LED）が点滅し、1分間隔で「ピピピピピ」とブザー音が鳴ります。
サイズ [mm] (突起部を除く)	本体：W62×H87×D47 遮断部：W67×H67×D31
重量	本体：135g、遮断部：220g
使用温度範囲	0～40℃
材質	本体：ABS、遮断部：ABS、POM、SUS

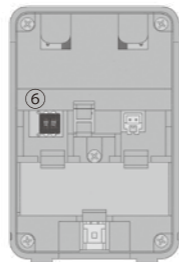
3 各部の名称と付属品

本体

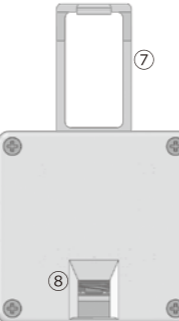
(表面)



(裏面)



遮断部



ホルダー



出荷時は本体に装着されています。

①テストボタン
分電盤に設置した後の動作確認の際に使用します（「10.手順3」の動作確認を参照）

②リセットボタン
感震ライトならびにブザー音を停止します。また電池切れお知らせ警報音を24時間停止します。

③感震ライト
地震発生時に点灯します。

④赤色警報灯
電池切れお知らせ機能時に点灯します。

⑤ブザー
地震発生時や電池切れ時の警報を鳴らします。

⑥切替スイッチ
(左側) 地震発生後のブレーカー遮断時間の切替
(右側) 電池切れの際の警報方法について切替
※設定については4・6をご覧ください

⑦遮断アーム
分電盤のレバーやフラットハンドルに取り付けます。

⑧調整レバー
設置する際に⑦遮断アームを調整するレバーです。

両面テープ

ホルダーの固定に使用します。



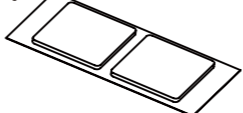
アルコールシート（2個）

遮断部・パネル押さえの貼り付けとホルダーの貼り付け時に使用します。



パネル押さえ（2個）

分電盤パネルを補強するために使用します。

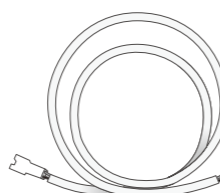


リチウム電池



- ・電池を保護している透明ビニールをはがさないでください。
- ・他の製品に使用しないでください。
- ・電池の漏液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

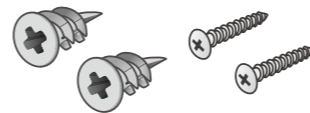
ケーブル



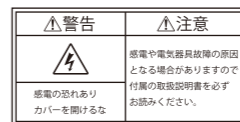
- ・ケーブルの被覆をはがさないでください。
- ・ケーブルを無理にねじったり、ちぎったりしないでください。

ケーブル長さは65cmです。これよりも長いケーブルをご希望の場合は、別売品をご利用ください。
<http://pioma.jp/ugu6>

石こうボード用
アンカーボルト・ねじ
(各2本)

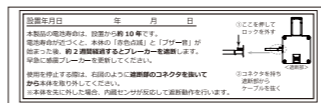


分電盤用注意書きシール



・遮断部を設置し、分電盤の注意書きが隠れてしまった際に使用します。

動作説明シール

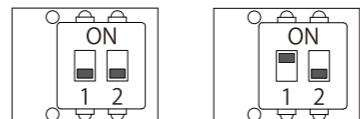


感震ブレーカーの動作について書かれたシールです。油性ペンで設置年月日を記入して、分電盤またはその周辺に貼り、いつでも確認出来るようにしてください。
※油性ペンで記入した場所に、上からセロハンテープを貼ると記入した文字が消えにくくなります。

4 基本動作について

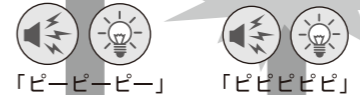
●地震（震度5強相当以上）が発生した場合

「3.各部の名称と付属品」の本体の⑥切替スイッチ設定



右図の「出荷時設定」である事を確認してください

地震発生!!



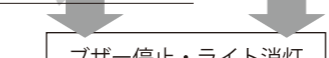
2分30秒後



3分後



10分後



※リセットボタンを押すと、ブザー停止・ライト消灯されます。

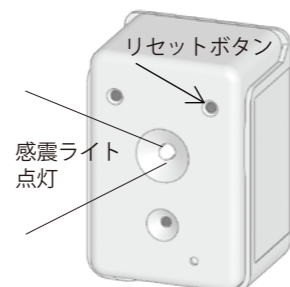
●地震が発生し、家屋が倒壊した場合
上記⑥のスイッチ設定に関わらず、家屋倒壊の時点で、即座にブレーカーを遮断します。（本製品が大きく傾いた場合）

1をONにした場合、地震直後に本器が動作し、照明も即時遮断されるため、停電ライト等を備えることをお勧めします。

5 感震ライト

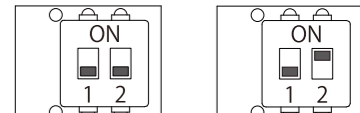
震度5強相当以上の揺れを地震センサが感知するとライト（白色LED）が点灯し、10分後には自動で消灯します。また、リセットボタンを押すと消灯します。

注意	●LED（点灯部）を直視し続けしないでください
-----------	-------------------------



6 電池切れお知らせ機能

「3.各部の名称と付属品」の本体の⑥切替スイッチ設定



2がOFFの場合
(出荷時設定)

2がONの場合



＜赤色警報灯＞
10秒間隔で1回点滅
＜ブザー＞
1分間隔で「ピピピピピ」

＜赤色警報灯＞
10秒間隔で3回点滅
＜ブザー＞
1分間隔で「ピピピピピ」

＜約2週間後＞
遮断動作し、ブザーが鳴ります

※電池が無くなると遮断動作が出来なくなります。

注意	●電池切れお知らせ機能が作動した場合は、速やかに本体を交換するか使用を中止してください。その状態で放置しておくと、液漏れの原因になります。 ●電池のみを交換し継続使用することは出来ません。 ●出荷時設定で電池切れお知らせ後、約2週間でブレーカー遮断後、ブザーが鳴ります（リセットボタンでの停止不可）。 ●実際に地震が発生した場合や電池切れの際にはブレーカーが遮断されます。ブレーカーが遮断された場合にご家庭で使用している電気機器は全て遮断されます。遮断に伴う故障・ケガ・事故については、弊社はいかなる場合も一切責任を負いません。
-----------	---

7 8 は、ありません。

9 保証について

- 保証期間はご購入の日から1年間といたします。
- 取扱説明書、本体ラベルなどの記載内容にそった正しい使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で交換いたします。その場合は、ご購入の販売店が弊社のお客様相談窓口までお申し付けください。
- 保証期間内であっても次のような場合には有償とさせていただきます。
(イ) 誤ったご使用や改造・修理による故障、損傷。
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、衝撃による故障、損傷。
(ハ) 火災、地震、落雷、水害、天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の電源使用などで生じた故障、損傷。
(ニ) 車両や船舶などに搭載された場合に生ずる故障、損傷。
(ホ) 一般家庭の屋内以外での使用などによる故障、破損。
(ヘ) 本書の紛失またはご提示のない場合。
(ト) 保証書内の所定事項の記入漏れ、あるいは字句が書き変えられた場合。
(チ) お買い上げ日が確認できる領収書や日付印などが無い場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	UGU6		
保証期間	ご購入日より1年間		
販売店記入欄	お買い上げ日	年	月 日
	店名・住所		
お客様ご記入欄	電話		
	お名前		
ご住所			
電話			

※本書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただくことがございますのでご了承ください。

製造元

株式会社 生方製作所

〒457-0828 名古屋市長区宝生町4丁目30番地

<http://www.ubukata.co.jp> お客様相談窓口(土・日・祝を除く)
<http://pioma.jp> ☎ 0120-279-170 (9:00~17:00)

10 設置について

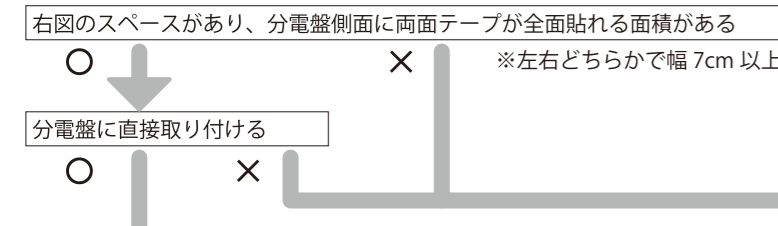
右記の警告・注意を確認後、手順1～3の順番で設置をしてください

手順1 遮断部の設置方法

別紙の施工説明書をご覧ください

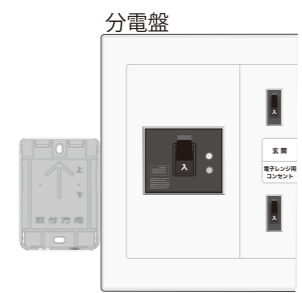
手順2 本体の設置方法

2-1 ホルダーを取り付ける



ホルダー側面を分電盤に直接取り付ける場合
(両面テープを使用)

分電盤の側面にてホルダーが前後左右ともに傾かないように取り付けられ、両面テープ全面が貼れる場所にホルダーの位置を仮決めしてください。位置が決まったら、付属の両面テープでホルダーを貼り付けます。

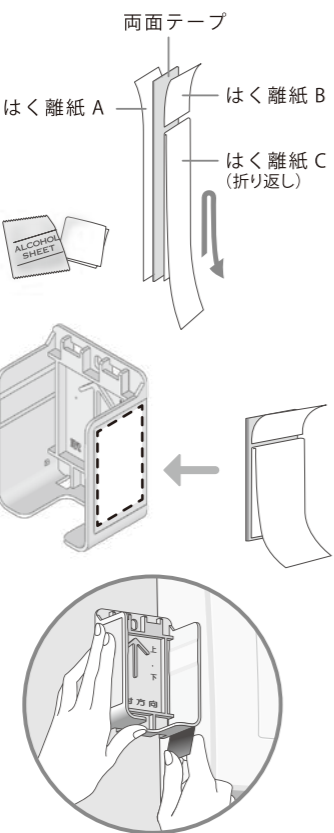


注意

- ホルダーを取り付ける際、ホルダーにある取付方向を守ってください。取付方向が変わってしまうと、本体が正しく動作せず、予期せぬ遮断が発生する可能性があります。
- 両面テープで貼り付けますので、凹凸がある場所には取り付けられません。

<両面テープの貼付方法>

- ①分電盤のホルダーを貼り付ける位置とホルダー側面の貼り付ける位置を乾いた布で拭いて、ホコリを取り除きます。付属のアルコールシートを使い貼付部分をきれいにしてください。※アルコールが乾くまでは貼り付けないでください。※アルコールシートは、エタノールを使用しておりますので、肌が弱い方はご注意ください。
- ②はく離紙Aをはがし、はく離紙Cが下になるようにホルダーの右図の場所に貼り付けます。(左側に貼り付ける場合も同様です。)
- ③はく離紙Bをはがし、分電盤に貼り付けます。※この時、取付方向を間違えない様、ご注意ください。
- ④はく離紙Cを下へ引っ張るようにはがし本固定してください。その後、ホルダー貼付け面を5回ほど強く分電盤に押し当ててください。※強く引っ張りすぎると、位置がずれてしまう可能性があるため、ご注意ください。



注意

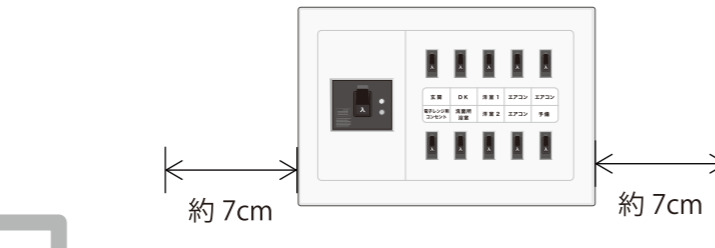
- 付属の両面テープ以外で貼り付けないでください。ホルダーが落下し、誤作動・故障の原因となります。
- 本固定後にはがして、再貼付けは出来ません。粘着力が不足し、正しく固定出来なくなるおそれがあります。

警告

- 本体・遮断部の設置は、高い位置での作業となりますので、安定した台の上で作業してください。また落下には十分ご注意ください。
- 設置スペースを確保して設置してください。無理に設置をすると、故障・ケガの原因となります。
- 感電などのおそれがありますので、濡れた手で作業しないでください。

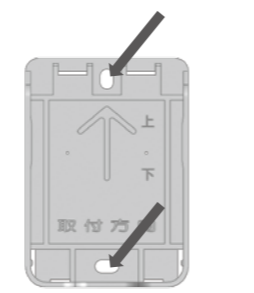
注意

- ホルダーを分電盤以外の場所に取り付ける場合は、リード線の長さ(約65cm)で届く範囲に設置してください。
- コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。奥まで差し込まれていないと正常に動作しません。



分電盤以外に取り付ける場合
(石こうボード用アンカーボルト・ねじを使用)

ホルダーが前後左右ともに傾かないように取り付けられる場所にホルダーの位置を仮決めしてください。位置が決まったら、ホルダーのねじ穴の固定場所(右図の矢印の2か所)にマジックなどで印をつけてください。印を決めた場所にアンカーボルトとねじで取り付けます。※木の柱などの場合、アンカーは不要です。

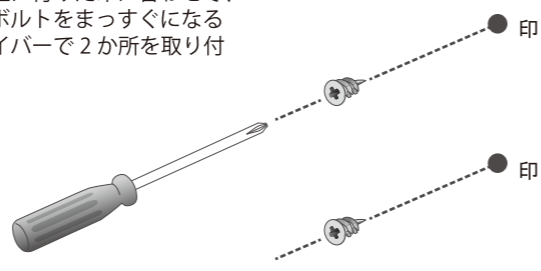


注意

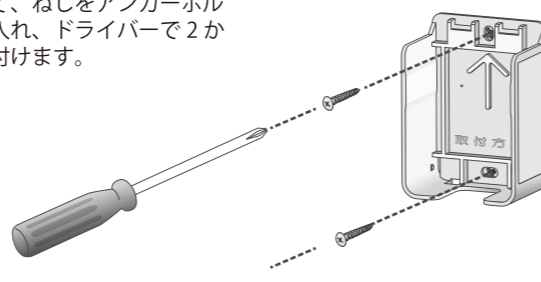
- ホルダーを取り付ける際、ホルダーにある取付方向を守ってください。取付方向が変わってしまうと、本体が正しく動作せず、予期せぬ遮断が発生する可能性があります。
- 壁紙がはがれてしまい、製品の落下につながる危険があるため、分電盤以外に取り付ける際は、両面テープは使用しないでください。

<アンカーボルトの取付方法>

- ①取付位置に付けた印に合わせて、アンカーボルトをまっすぐになる様にドライバーで2か所を取り付けます。



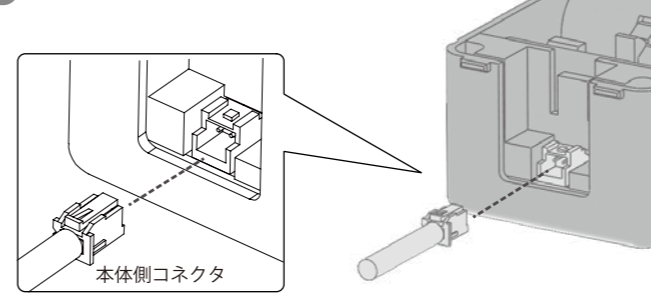
- ②右図のように、ホルダーのねじ穴をアンカーボルトの位置に合わせてあてて、ねじをアンカーボルトの穴に入れ、ドライバーで2か所を取り付けます。



注意

- 石こうボード用アンカーボルト・ねじの先端が指など刺さる危険がありますので、袋から取り出す際や取り付けの際には十分ご注意ください。

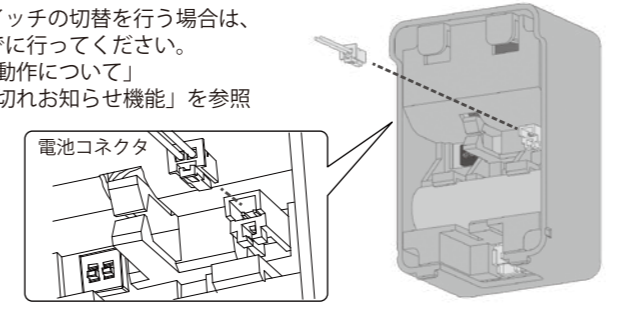
2-2 本体にケーブルを差し込む



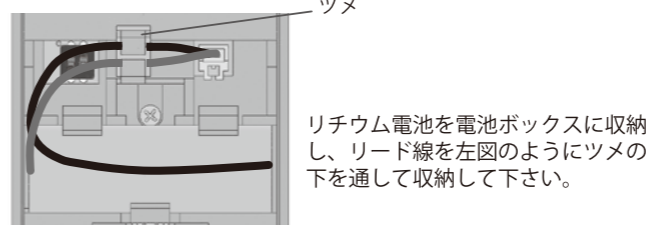
図のように、本体側コネクタと本体側ケーブルコネクタの向きを合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

2-3 リチウム電池を挿入する

設定スイッチの切替を行う場合は、ここまで行ってください。「4.基本動作について」「6.電池切れお知らせ機能」を参照



上図のように、電池側コネクタの突起と本体の電池コネクタの溝を合わせて、奥までしっかりと差し込んでください。※電池コネクタを接続するとブザーが鳴りますが、異常ではありません。そのまま2-4にお進みください。

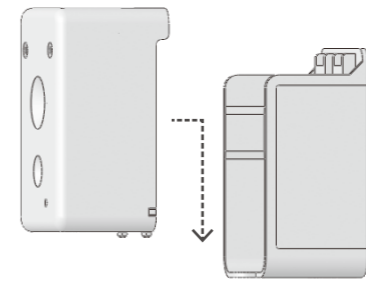


注意

- リチウム電池を保護しているビニールをはがさないでください。

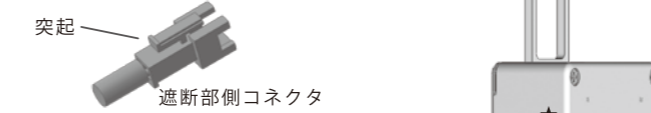
2-4 本体を装着する

- ①ホルダーに本体を装着します。ホルダー奥まで押し当てて、「カチッ」というまで下にスライドさせてください。※軽く本体を手前に引き、ホルダーから本体が外れない事を確認してください。



- ②装着後、リセットボタンを押してブザー音を停止してください。※センサが安定するまで約20秒程度かかります。約20秒放置してからリセットボタンを押し、再度ブザー音が鳴らない事を確認して、次に進んでください。

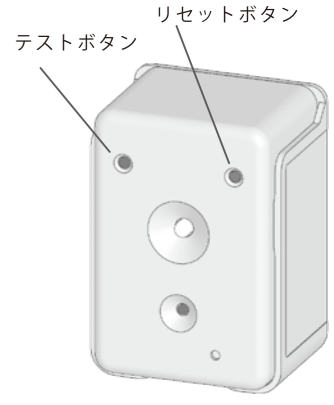
2-5 遮断部にケーブルを差し込む



2-4.にてブザーを停止後、右図のように、遮断部側コネクタの突起を遮断部左側面の「コネクタ接続口」の★マークに向きを合わせてケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。

手順3 動作確認

本体・遮断部の設置後に動作確認を行います。テストボタンを3秒以上押しと遮断部が作動し、感震ライトが点灯し、ブザーが鳴ります。正しく設置されているかどうかを必ず確認してください。動作しなかった場合は今一度ケーブル・リチウム電池の差し込み状態をご確認ください。確認後は、「11.遮断後の復旧方法」にて元に戻してください。

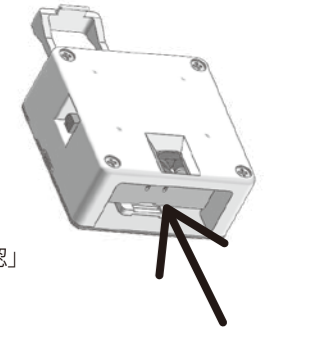


注意

- 動作確認では、実際に電源を遮断します。
- ご家庭で使用している機器で故障などのおそれがある機器については、事前に安全対策を行ってください。(パソコン・ゲーム機器・IH調理器・医療機器など)

11 遮断後の復旧方法

地震などで遮断された際は、安全確認を行ってから、以下の手順で復旧してください。



- ①本体のリセットボタンを押す。
- ②右図のように、遮断部の底を奥まで押し込む。
- ③ブレーカーを通電状態にする。

予期せぬ遮断の場合は「手順3.動作確認」を行ってください。

12 定期点検

●1年に1回は「10.手順3.動作確認」のテストボタンでの動作確認を行ってください。

注意

- 動作確認では、実際に電源を遮断します。
- ご家庭で使用している機器で故障などのおそれがある機器については、事前に安全対策を行ってください。(パソコン・ゲーム機器・IH調理器・医療機器など)

設置完了イメージ図

